



自民・松本氏

社会保障制度 安定化が必要

自民党の松本純政調会長代理(衆院1区)㉒写真㉓は27日、都内でパーティーを開き、「経済が頭打ちといわれ、給料が下がってもおかしくない時代に、皆保険制度を堅持できるかが課題」と述べ、社会保障制度安定化の必要性を強調した。

松本氏は社会保障制度に関し、「働き盛りの人が納める保険料が高齢者医療に回っている。まず経済が安定し、消費増税問題をクリアする流れが必要」と説明した。

会合には、麻生太郎副総理兼財務相や稲田朋美政調会長、江渡聡徳防衛相、石破茂地方創生担当相らが出

席した。(高橋 融生)

閣僚辞任相次ぎ

「やや脇に甘やろ」

谷垣幹事長

安倍内閣の閣僚辞任が相次いだことをめぐり、自民党の谷垣禎一幹事長は27日、「今まで1年10カ月、かなり調子よくなって、やや脇に甘さが生じているのではないか」と述べ、あらためて党内の引き締めを図る考えを示した。

谷垣氏は、自民党が政権復帰を果たした直後は「緊張して政権運営に臨む」という機運が横溢していた」とし、政治と金に絡む問題を懸念した。

一方で、「野党は離合集散を繰り返しており、個性を打ち立てるには多少時間がかかる。野党に政権を今の段階で譲るわけにはいかない」とも強調した。

松本純政調会長代理(衆院1区)が都内で開いたパーティーで述べた。

(高橋 融生)